



世のため 人のため

～本業を通じた社会課題の解決に向けて～

副社長の伊藤さんよりみなさんへ 「真の内装システムサプライヤーを目指して」

2030年の自動車産業はどう変化して行くのでしょうか。MaaSの進展により世界でのライドシェアは拡大し先進国での車両保有は頭打ちとなり、自動走行データを活用した様々なサービスが生まれ進むであろう。自動運転は進化を遂げ社会実装では商用車が先行し、素材・部品からサービスやメンテナンスの付加価値のウェイトが拡大するであろう。各国での燃費規制が強化され環境意識の更なる高揚やポスト・コロナによる生活の変化により「安全で快適な時空間」へのニーズが拡大するであろう。このような社会ニーズの変化を踏まえ、当社は2030年のありたい姿として、企業価値の向上によりサステナブルかつ世界トップレベルの企業になるためインテリアスペースクリエイターとして新たな価値の創造に取り組んでいきます。まずはインテリアスペースクリエイターに繋がる現状の内装システムサプライヤーのあり方をグローバルに適用出来るよう地域の拡大・開発領域の拡大・品目の拡大へと新しい仕組みに作り替え、内装分野でのホームになることを目指しています。このような活動を通じ内装システムサプライヤーとしての確固たる地位を確立し、本業を通じて社会に貢献するビジネスモデルへと繋げていきます。

当社の課題や社会のニーズから整理されたマテリアリティをベースに策定された2025年中期経営計画の目指す姿“内装システムサプライヤーとしてホームとなり、グローバルサプライヤーを凌駕する会社”を実現すべく全社一丸となって目標達成させましょう。



豊田綱領を改めて考えてみる <その3>

今回は豊田綱領の項目5について紹介します。また、これまで学んだ5項目について復習しましょう。

一、神仏を尊崇し、報恩感謝の生活を為すべし

訳：いつも敬虔な気持ちを忘れず、元気に明るく暮らせることを感謝して毎日を過ごすようにしよう。



(例)

社会的責任を果たすべく、感謝の気持ちを大切にす

謙虚さをもって、ステークホルダーの期待に応えていく

【復習】 下記の（ ） 内に入る単語を枠内から選んで埋めてください

- 一、上下一致、（ ① ）に服し産業報国の実を挙げべし
- 一、研究と（ ② ）に心を致し、常に時流に先んずべし
- 一、華美を戒め、（ ③ ）たるべし
- 一、（ ④ ）の精神を発揮し、家庭的美風を作興すべし
- 一、神仏を尊崇し、（ ⑤ ）の生活を為すべし

a. 質実剛健 b. 報恩感謝 c. 至誠業務 d. 創造 e. 温情友愛



回答は、TBの[HP](#)へ